
REDDプラスへの取組動向

- コロンビア共和国 Country Report -



森林の概況

- コロンビアは行政機構が分散しているという特徴があり、森林管理は地方組織から構成される国家環境システム (National Environmental System: SINA) によって実施されている。
- 過去数十年間における平均的な年間森林減少面積は約100千haであり、その規模は天然林面積の0.18%に相当する。
- 森林減少の主な要因は農地開発、インフラ整備、森林火災、木材生産等であり、その背景には土地所有形態や木材市場の複雑さ、武力紛争等の影響によってガバナンス(持続可能な森林経営)が十分に機能していないという事情がある。

National Forest Inventoryの有無/位置付け

- 森林インベントリの作成やモニタリングは水文気象環境研究所 (Institute of Hydrology, Meteorology and Environmental Studies of Colombia: IDEAM) 及びSINAにおいて実施されている。情報は必ずしも一元化されておらず、バイオマスストック量や成長量等のデータも十分に整備されていないことから、将来的に改善・更新が必要な状況である。

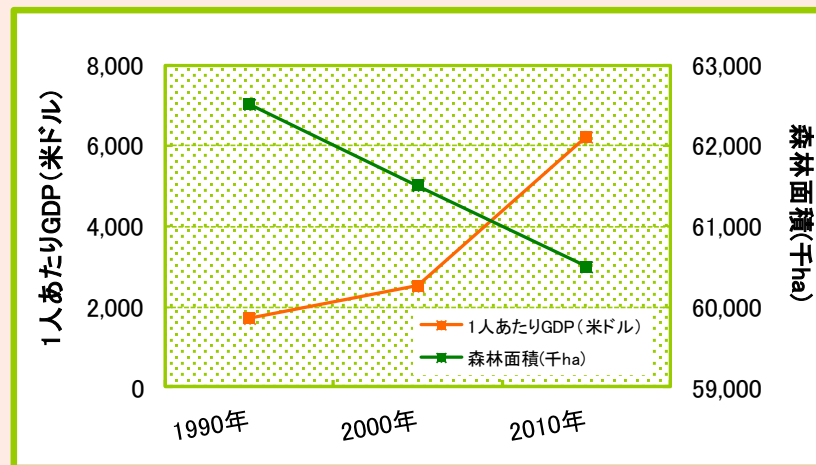


経年変化(FAOデータ)

【表5-1 コロンビアの概況】

(出典: FAO, 2011; UN data)

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計)(千人)	33,203	39,764	46,295
GDP(百万米ドル)	40,274	100,364	288,189
1人あたりGDP(米ドル/人)	1,714	2,512	6,223
GDP成長率(%)	6.0	4.4	4.3
国土面積(千ha)	114,175	114,175	114,175
森林面積(千ha)	62,519	61,509	60,499
年平均森林減少面積(千ha/年)	-	101	101
Primary Forest(千ha)	8,828	8,685	8,543
Other naturally regenerated forest(千ha)	-	-	51,551
Planted Forest(千ha)	8,828	8,685	8,543
Carbon stock in living forest biomass(百万トン)	7,032	6,918	6,805



【図5-1 コロンビアの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)】

今後の森林計画

- 2025年までの長期的な森林管理政策を定めた国家林業開発計画 (National Forestry Development Plan: PNDF) を継続・強化しつつ、森林インベントリの更新、森林生態系のゾーニング (Zonification)、低インパクト林業の実施、森林経営のモニタリング等を進める予定。

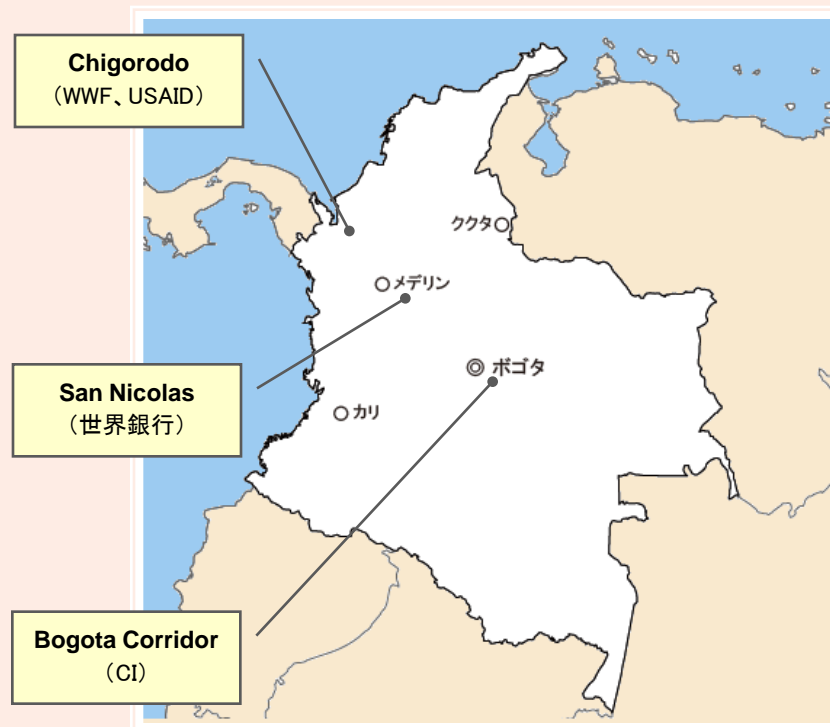


REDDプラスに関する主だった取組

2008年 ■ 世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility: FCPF) への参加意向を表明

2010年 ■ 8月、UN-REDDプログラムのパートナー国 (直接資金支援を受けない) に決定
 ■ 10月、FCPFの準備基金 (Readiness Fund) から拠出開始

REDDプラスへの取組 (Demonstration Activity)



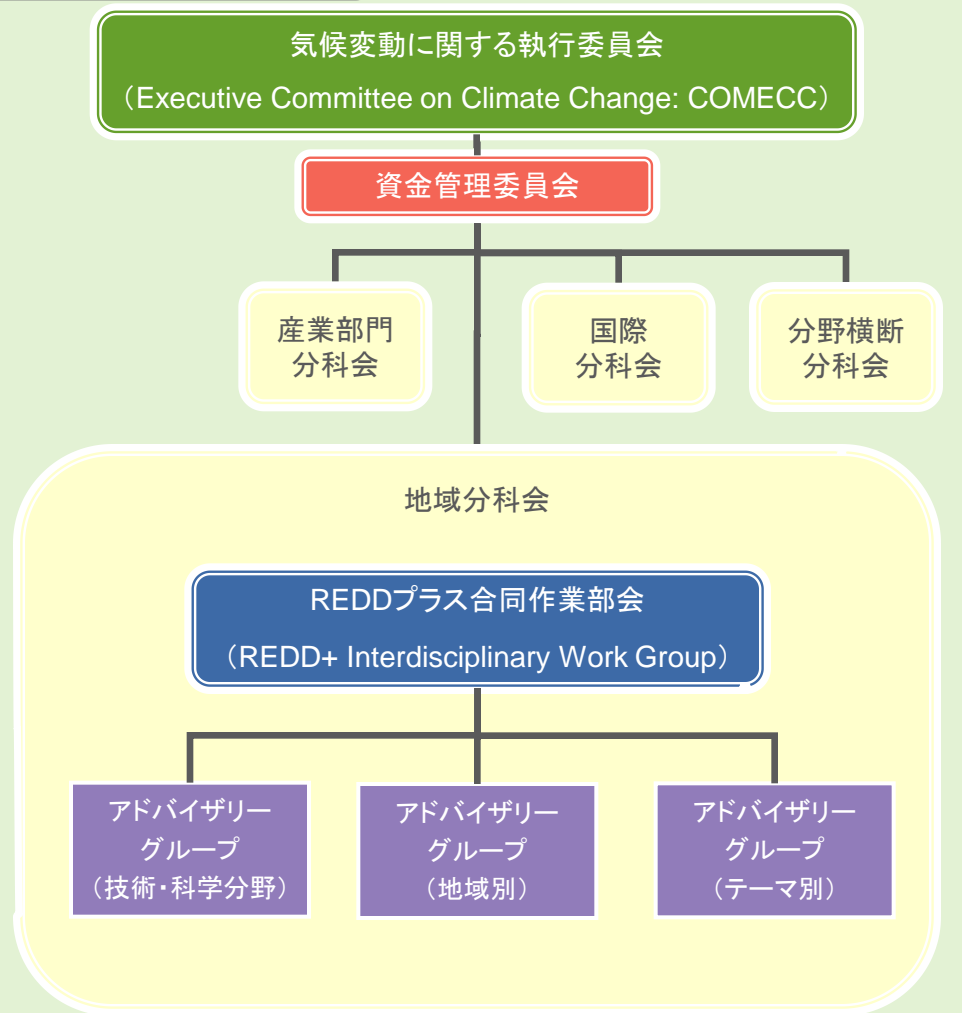
【図5-2 コロンビアにおける主だったREDDプラス関連事業実施状況】

REDDプラスへの取組状況

- 米国国際開発庁 (United States Agency for International Development: USAID)、国際熱帯木材機関 (International Tropical Timber Organization: ITTO)、世界自然保護基金 (World Wide Fund for Nature: WWF)、コンサベーション・インターナショナル (Conservation International: CI) 等が取組を実施。
- FCPFの準備段階において期待する成果は(1)主要なステークホルダーの能力開発、(2)取組実施に向けた法制度面及び技術面の枠組み構築、(3)森林モニタリング手順書の作成、(4)取組実施に伴う社会・環境・経済的影響の特定、(5)国家REDDプラス戦略の作成。
- 今後の取組に係る予算総額は18.5百万米ドル (うち、FCPF: 3.4百万米ドル、UN-REDD: 4.0百万米ドル、コロンビア政府: 1.4百万米ドル、その他: 9.7百万米ドル) と想定。



REDDプラス実施体制



【図5-3 コロンビアにおけるREDDプラス実施体制】

REDDプラスに関する省庁及びその役割

【表5-2 コロンビアのREDDプラス関係省庁及びその役割】

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
気候変動に関する執行委員会 (COMECC)	<ul style="list-style-type: none"> ■政府の諮問機関であり、気候変動に関する国内システムの調整や管理を行う ■主要官庁の大臣あるいは次官等から構成される。 ■事務局は環境・持続的開発省 (Ministry of Environment and Sustainable Development: MADS) が担当
資金管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■気候変動対策プロジェクトの技術審査や資金調達交渉を行う
分科会	<ul style="list-style-type: none"> ■特定の分野に関する情報や推奨事項、取組について研究、分析、調整等を行う ■左図の4分科会は常設であるが、必要に応じて特別分科会が設置される可能性もある
REDDプラス合同作業部会 (REDD+ IWG)	<ul style="list-style-type: none"> ■REDDプラスに関する最高調整機関。地域分科会 (Territorial Subcommittee) の下に設置される。議長はMADSが担当 ■MADS、国家企画庁 (National Planning Department: DNP)、農業・地域開発省 (Ministry of Agriculture and Rural Development: MADR)、民間部門、先住民、研究機関、NGO等から構成される ■運営は3つのアドバイザーグループの支援を受けつつ執り行う



Demonstration Activityの実施状況

【表5-3 コロンビアにおけるDemonstration Activity実施及び資金支援の状況】

支援タイプ1	支援タイプ2	主だったドナー	実施場所	取組の概要
パイロット事業	国際基金	世界銀行バイオ炭素基金(Bio Carbon Fund)	San Nicolas (Antioquia県)	<ul style="list-style-type: none"> 10.7千haの土地を対象に、20年間にわたって森林減少を抑制する取組。 森林減少の主な要因は、農地拡大、放牧、薪炭材採集、人口増加であり、地域社会や土地所有者と共同で教育、能力開発等を実施。
パイロット事業	その他	CI	Bogota Corridor (Bogota市東部)	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な水資源供給と生物多様性保全を保証するために、Bogota市周辺の森林を農地拡大から保護する取組。森林から転用された農地(15千ha以上)を対象に、在来樹種の植林を行う予定。 取組はBogota市の水道会社等と共同で実施。
パイロット事業	その他	WWF、USAID	Chigorodo (Antioquia県)	<ul style="list-style-type: none"> 森林管理計画に森林減少抑制活動を統合しようとする取組。9千haを対象としている。
資金支援	二国間支援	USAID	— (※詳細不明)	<ul style="list-style-type: none"> 天然林保護を目的として、先住民に支払いを行う取組。 保護地において木材搬出が行われていないことが外部検証されると支払いが実施される仕組み。資金は地域評議会の運営委員会を介して持続的な農業活動等に投資される。

日本の支援状況

- 国際協力機構(JICA)が天然林の管理と持続的利用に関するプロジェクトを実施(2007~2012年)

UNFCCCへの関与情報

【表5-4 UNFCCCでの取組状況】

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月13日、批准：1995年3月22日
京都議定書	批准：2001年11月30日
DNA担当組織	MADS
第1次国別報告書	2001年12月に提出
第2次国別報告書	2010年12月に提出

UNFCCCへ提出している森林情報

【表5-5 A/R CDMのための森林定義】

項目	値
最小面積	最小1ha
樹冠率	最低30%
樹高	最低5m

【表5-6 A/R CDMの対象森林】

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

その他の特徴的な地球温暖化対策

- コロンビアで実施されているクリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism: CDM)には、排出削減プロジェクト(電気、電力需要、廃棄物除去、輸送、効率的エネルギー)や吸収源プロジェクトがあり、約70百万t-CO₂の排出削減効果が得られる見込み。
- 生態系サービスへの支払い(Payment for Environmental Services: PES)に関する国家レベルの戦略を策定し、既に水資源や炭素を対象としたPESプロジェクトを実施している。

出典(参考資料)

- The Nature Conservancy and IDESAM (2009) Casebook of REDD Projects in Latin America
- WWF (2009) National Institution Arrangements for REDD Case study - Colombia
- USAID (2010) U.S. REDD+ Programs - Addressing Climate Change by Conserving and Restoring the World's Forests-
- FCPF Webサイト
- CI Webサイト